アンサンブル

［演習］ 第３学年　後期　必修　2単位

《担当者名》○近藤里美　skondo@hoku-iryo-u.ac.jp　下出理恵子

【概　要】
音楽療法を実施するために必要なアンサンブルの基本的知識、アンサンブル創作、およびアンサンブルを実施するための指揮法の技能を習得する科目である。

【学修目標】
実際の音楽療法場面に適用できるアンサンブルの基本的知識を理解し、実際に基本的なアンサンブル構成ができる技能を習得する。
1．治療目的に応じたアンサンブルに使用する楽器の特徴と操作性を理解する。
2．達成可能かつ豊かな音楽的表現を可能にするためのアンサンブルの方法を説明できる。
3．アンサンブルを実施するための効果的な指揮ができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	講義の進め方、概要、評価の説明	近藤里美 下出理恵子
2 ～ 5	アンサンブルに活用する楽器の特徴	・打楽器、吹奏楽器、民族楽器、電気楽器などの楽器の特徴や操作性についての理解 ・それぞれの楽器の特徴をもとにした操作性の理解と演奏技能の習得	近藤里美 下出理恵子
6 ～ 11	アンサンブルの構成と指揮法①	・打楽器の特性を活かすアンサンブルの構成 ・それぞれの楽器の操作性を考慮した指揮法の練習	近藤里美 下出理恵子
12 ～ 17	アンサンブルの構成と指揮法②	・鍵盤楽器の特性を活かすアンサンブルの構成 ・それぞれの楽器の操作性を考慮した指揮法の練習	近藤里美 下出理恵子
18 ～ 23	アンサンブルの構成と指揮法③	・民族楽器や電子楽器を生かすアンサンブルの構成 ・それぞれの楽器の操作性を考慮した指揮法の練習	近藤里美 下出理恵子
24 ～ 29	アンサンブルの構成と指揮法④	・即興的な要素を含むアンサンブルの創作、展開、実施	近藤里美 下出理恵子
30	まとめ	・音楽療法に活用するためのアンサンブルの要点の整理 ・各自の課題展の抽出	近藤里美 下出理恵子

【授業実施形態】
面接授業
※授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】
平常点 50% 授業内で行う技能達成確認テスト 25%、授業内容整理ファイリング25%

【教科書】
講義時に資料を随時配布する。

【学修の準備】
あらかじめ配布された資料・楽譜をもとに、十分な事前学修を行うこと。毎回の授業後には、各自の課題点を整理し、復習すること。事前学修・事後学修に各々80分を費やすこと。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】
（DP3）作業療法士として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、地域包括ケアの視点から適切に対処できる実践的能力を身につけている。

【実務経験】
近藤里美（音楽療法士）　下出理恵子（音楽療法士）

【実務経験を活かした教育内容】
医療機関および介護保健施設での実務経験を活かし、担当の演習を行う。

【その他】
この科目は主要授業科目に設定している